

■オーストラリア：エネルギー業界のシンクタンク、原子力に関する提言

2014年2月6日付の報道によると、オーストラリアのエネルギー業界のシンクタンクである Energy Policy Institute of Australia (EPI) は、政府が発行するエネルギー白書について 26 項目の提言を公表した。この中で EPI は、オーストラリアのエネルギー政策は過剰に政治問題化しており、投資者にとっては信頼性がなく将来の予想もできないものとなっており、発電においては石炭への依存度が高すぎると指摘している。オーストラリアにはウラン鉱山が多くあり、原子力技術には長い歴史があるものの、原子力発電所はなく、州によっては禁止されている。今回の提言では、原子力発電の禁止をいつまでも続けるべきではないとしている。